

人材育成で 現場力の最大化！

現場改善を通して人材を育成し、
改善を継続させる生産性の高い
強く良い現場づくりを支援します



しが産業生産性向上経営改善センター

Multi-industry Management Improvement Center for productivity

運営主体：公益財団法人滋賀県産業支援プラザ
運営協力：滋賀県

しが産業生産性向上経営改善センター(MMIC)が目指すもの

●「ものづくり県」として発展してきた滋賀県。事業活動のグローバル化が進展する中、世界で通じる、世界で認められる企業となるために、経営の基本であるものづくり力のさらなる強化が求められています。

企業の持続的な発展、企業付加価値を増大し地域社会の付加価値を高める（地域創生）こと、地域GDPを増大することによる雇用の増大に真正面から取り組むためには、両輪である、企業固有の技術と“ものづくり技術”※の育成を図ることが求められています。

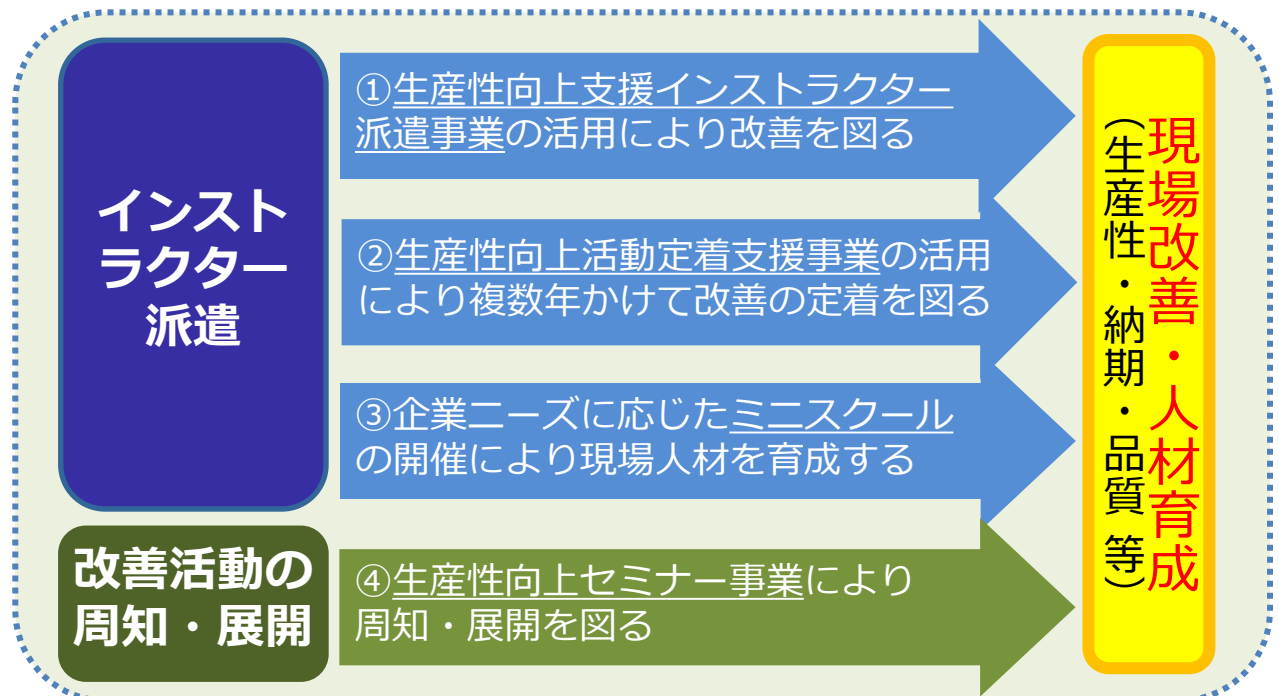
●そして、その“ものづくり技術”の核となるものは、「人」そのものです。この「人」への投資、すなわち産業人材の育成を真正面から支援するために、県では2015年、「滋賀ものづくり経営改善センター」を設立、2019年4月には、これまでに培ったノウハウを第3次産業へも展開し、本県の産業における生産性の向上を後押ししていくことを目的に、「しが産業生産性向上経営改善センター」として新たに出発したところです。

●しが産業生産性向上経営改善センター(略称:MMIC)では、滋賀県の協力のもと、県内の中小企業等の生産性向上、経営改善のご要望に、現場の“良い流れづくり”でお応えすべく、人材育成に資する次の事業を中心に実施します。

- ① 県内企業の経営基盤強化・安定を図るため、生産性向上の“ものづくり技術”を習得し、活用できる人材を育成する生産性向上支援インストラクター派遣事業
- ② ①の後、生産性向上の活動が定着するよう、長期的な視点で取り組める計画を共同で策定し、支援する生産性向上活動定着支援事業
- ③ ものづくり能力の高い現場を集積し、地域の創生に繋げていくために、現場改善を推進できる人材を育成する生産性向上ミニスクール事業
- ④ 現場改善手法による生産性向上活動について、広く周知・展開し、県内に良い現場をつくる機運を高める生産性向上セミナー事業

“ものづくり技術”が発揮できる分野は、製造業はもちろんのこと、第3次産業へ展開できるものであり、この展開も「しが産業生産性向上経営改善センター」の目標の一つです。

※“ものづくり技術”とは、製造業の技術のことではなく、「個々の固有技術をつなぎ合わせて、全体最適な『良い流れ』を作る技術」のことです。



1 生産性向上支援インストラクター派遣事業

製造業をはじめとする様々な業種の県内中小企業等を対象に、生産性向上、経営改善のご要望に、現場の“良い流れづくり”でお応えします

対象 県内企業・事業所等（※業種は問いません）

派遣者 県内企業の経営基盤強化・安定を図るため、生産性向上の“ものづくり技術”を習得し、活用できる人材を育成する「生産性向上支援インストラクター養成スクール」を修了し、滋賀県知事が任命した、現場指導経験と現場改善ノウハウが豊富なインストラクターです。
（R2.4月現在 30名）

事業の流れ

1. お問い合わせ
2. 訪問調査（経営者からの課題の聞き取り等）
3. 申込み
4. インストラクターの選任
5. 改善推進担当者の選任（企業側）
6. 支援計画書の作成（現場スタッフとともに作成）
7. 改善活動・支援の実施
8. 活動報告会

改善例

- ・5Sの定着、業務の見える化で、チームで働く工場から外部に「魅せる工場」に変革
- ・主要製品のリードタイム40%以上短縮
- ・溶接ラインの労働生産性200%上昇

【インストラクター派遣による改善の一例】
赤札作戦の実施＋生産方式の変更



派遣概要

30時間を上限として、インストラクターを派遣
（※1回あたりの時間・期間等はお要望により決定）

企業負担金

15万円（税抜、計30時間実施）

2 生産性向上活動定着支援事業

継続してインストラクターを派遣し、現場において生産性向上への活動が定着するよう支援します。

対象

インストラクター派遣事業を実施した県内企業・事業所等

事業内容

これまでに支援を行った企業内に、生産性向上への活動が定着するよう、長期的な視点で取り組める計画を共同で策定し、支援を実施します。

派遣概要

40時間を標準としてインストラクター1名を派遣
（※1回あたりの時間・期間等はお要望により決定。最大160時間／年度まで可）

企業負担金

10万円（税抜、計40時間実施）

3

生産性向上ミニスクール事業

企業ニーズに応じた内容で生産性向上につながるミニスクールを開催します

対象 滋賀県内にある企業・事業所等

講座内容 5S、IE、トヨタ生産システム、QCDF、現場改善の進め方 等から決定

講座概要 時間・回数：1講座3時間×3回を標準とする

企業負担金 10万円 (税抜、1講座3時間×3回)

ミニスクール の目的とカリキュラム (例)

【目的 例】

日常業務が忙しく、品質改善や生産性向上がうまく進まない。これを解消するために、現場の管理職がプレーイングマネージャーとなっているケースが見受けられるため、管理のマンパワーを部下に移して、本来のマネージャー業務を増やし改善活動の推進を図る。
上記のパフォーマンス向上の取組の一環としてミニスクールを実施する。

【カリキュラム例1】

生産現場において品質向上や生産性向上を目指す上で必要となる『ものづくり基礎知識』を習得する。

- ①『コミュニケーション』
- ②『現場の改善活動はなぜマンネリ化するのか』
- ③『IE』

【カリキュラム例2】

生産現場のパフォーマンス向上のため、改善と改革を推進させる『ものづくりの考え方や改善手法』を習得する。

- ①『ものづくり組織能力を高める改善ステップ』
- ②『QC7つ道具』
- ③『トヨタ生産システム』

4

生産性向上セミナー事業

現場改善手法による生産性向上活動について、広く周知・展開し、既実践している企業同士をつなぎ、県内に良い現場をつくる機運を高めます

対象 滋賀県内にある企業・事業所等

内容 セミナー事業
・講座：「(仮)第3次産業の強く良い現場作りのために」
立命館大学経営学部教授 善本哲夫氏
・実例報告：インストラクターより

参加費 無料

問い合わせ先

公益財団法人滋賀県産業支援プラザ しが産業生産性向上経営改善センター
〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2-1 コラボしが21
TEL:077-511-1423 FAX:077-511-1429 E-mail:mmic@shigaplaza.or.jp